

行財政改革について

新世紀の会 西野修平



質問 ↓津山市は実質公債費比率が十八%を超え財政が黄信号だ。確かな行革を進めるため、四年間の財政シミュレーションを示し、市民の理解を求めるべきだ。借入金千五百十億円、

職員数千九名、これの対策と合理化で適正な削減目標数値を示せ。また、公社等外郭団体の整理と指定管理者制度の有効活用を示せ。

答弁 ↓第四次総合計画の確実な実行と行革を行うため、策定中の「第八次行革大綱」や「実行計画」に反映させ、中期的な財政計画を示す。十七年度末で千二百二十七億五千万円の地方債残高を減らし実質公債費比率を下げるため、あらゆる努力をし、総合計画との整合性を図る。合併後、新市は多くの外郭団体を持ったそれぞれ設立趣旨、性格は異なるが内容を点検し計画的に再編・整理を図る。

行財政改革に挑む者の姿勢

日本共産党津山市議員 久永良一



質問 ↓議員の報酬や旅費の半減を含む二十億円の削減を提起する。市長は自ら、退職金廃止と市長専用車を止め、タクシー利用を。省庁の派遣、東京事務所を廃止を。

ずるは不十分だ。もっと構造的なもので、冷静な対応を。車の中で、書類の閲覧や電話での指示、連絡等執務室として使用しておりタクシー利用はできない。東京事務所の廃止、省庁への職員の研修派遣は早急に結論を出す。

質問 ↓市長専用車の稼働回数は一日あたり二回だ。公用車を利用すればいい。再建も経営も民でやるべし。

質問 ↓街づくり会社は昨年度も今年度も赤字だ。運転資金は残り少なくなっている。資金ショートは危険はないか。

答弁 ↓リニューアルは資金内でやるしかない。

アルネは黒字化するのか

新世紀の会 小栗興治



質問 ↓アルネ津山の第三次再建計画は天満屋を一・二階に集約し、魅力あるテナントを誘致し、売り場を充実させて売り上げ増を図り、同ビルを管理する津山街づくり会社の経営を二

〇〇八年までに黒字化することが柱であるが、有力テナントの誘致状況などを総合的に判断すると、実現がかなり難しい状況ではないか。もし万一、黒字化が達成できなければ、どう対処するのか。また、有力テナントの誘致の見通しは。

答弁 ↓黒字化達成に向かって懸命に努力している。もしもの時には別の選択をしなければならぬ。有力テナントの誘致は難航しているが、更に努力する。また、経常経費の削減に努めるなど残り一年六ヶ月あまり一層の努力をする。

公社保有土地の管理が非常に悪い

津山再生クラブ 齋藤弘道



質問 ↓土地開発公社の保有する土地は事務処理要項に反し、五年以上保有の塩漬け土地ばかりである。岡山県も見直しの方向性を示唆している。この際、津山市も見直す時期にきてい

るのではないのか。公社の土地管理が悪い。付近住民の迷惑にならないよう管理するべきである。

答弁 ↓解散するためには、保有土地すべて処分し、借入金百五十九億七千七百万円を清算しなければならぬ。現実の問題として、本市の土地開発公社は解散できないと考えている。公社の独力で経営健全化は困難であり、借入金は市が債務保証を行っているため、今後も公社を支援していかねばならない。指摘の点については適切な対応をとるよう、公社に申し入れを行いたい。

◎ 議員は暑中見舞い・年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。